

このまちの100年

「池田」

かつては池田郷と呼ばれる酒どころでしたが、明治以降は北摂の商工業の中心地として発展しました。明治末期、現在の阪急電鉄により、梅田から宝塚・箕面への路線が開通。同時に分譲販売された池田室町住宅地を皮切りに、沿線の開発も進められました。



大正3年頃

池田室町住宅地。日本で初めて電鉄会社により開発された分譲型の郊外住宅地だった



大正9年頃

満願寺屋の酒蔵。池田郷は最盛期となる江戸前期には38軒もの酒蔵があった



昭和初期

芝居小屋の呉服座では芝居や落語、浪曲など様々な興行が行われた



昭和14年頃

五月山から池田を望む。池田一帯は溪口集落として発展した



昭和14年頃

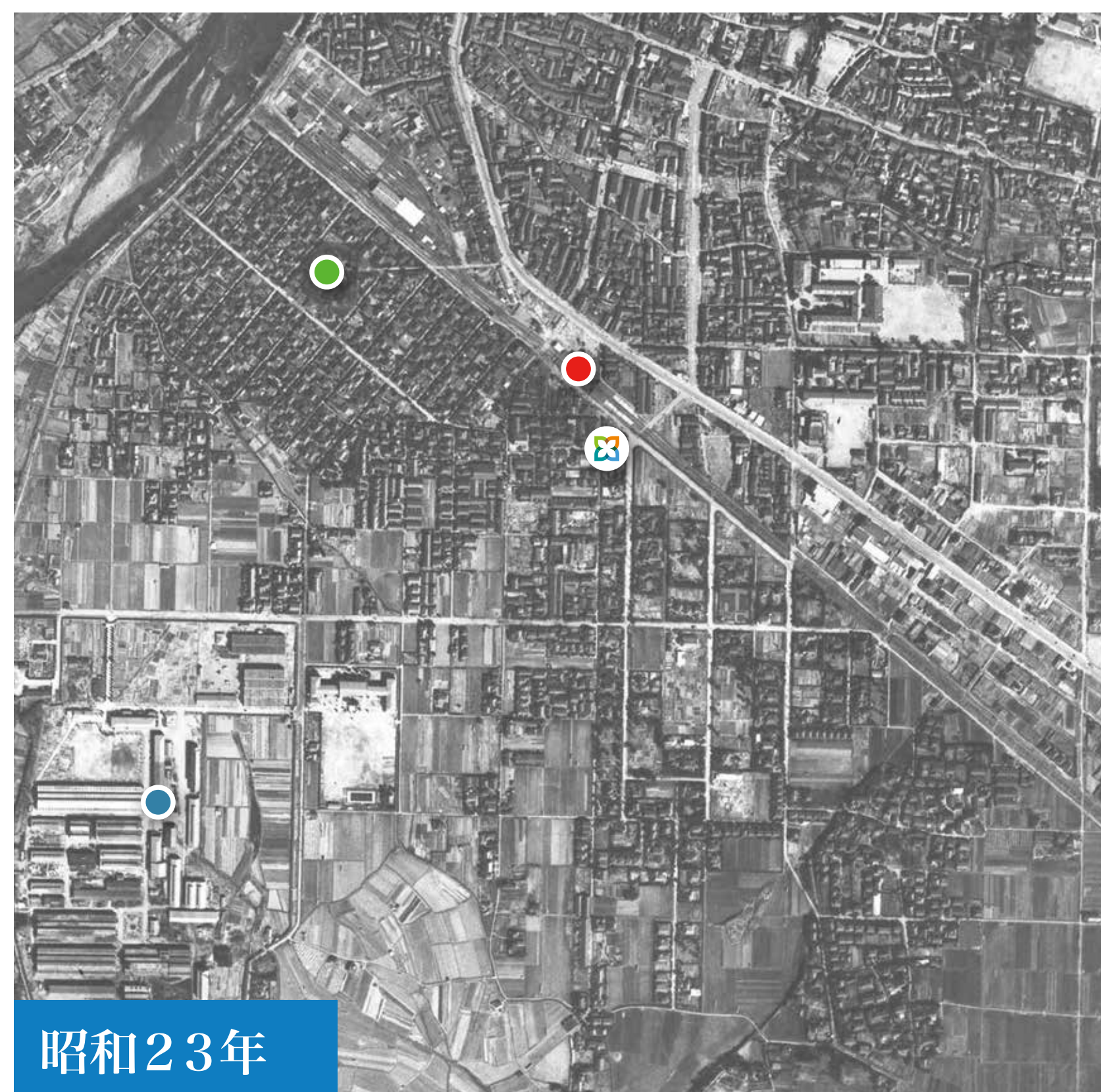
現在のダイハツ工業株式会社は、大阪高等工業学校の学者、技術者が中心となり発足させた



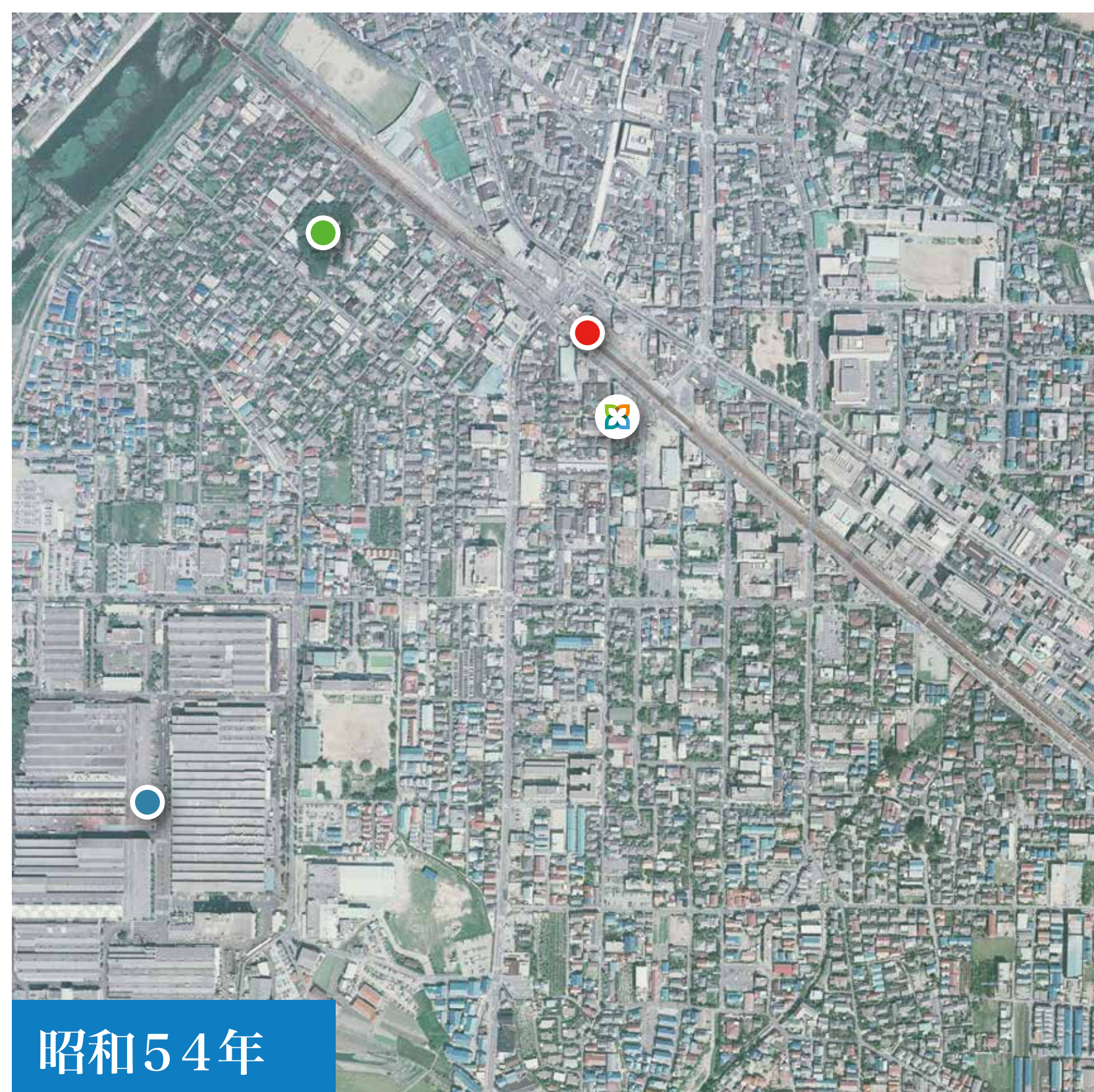
昭和25年頃

栄町北商店街。現在のサカエマチ2番街から五月山方面を望んでいると思われる

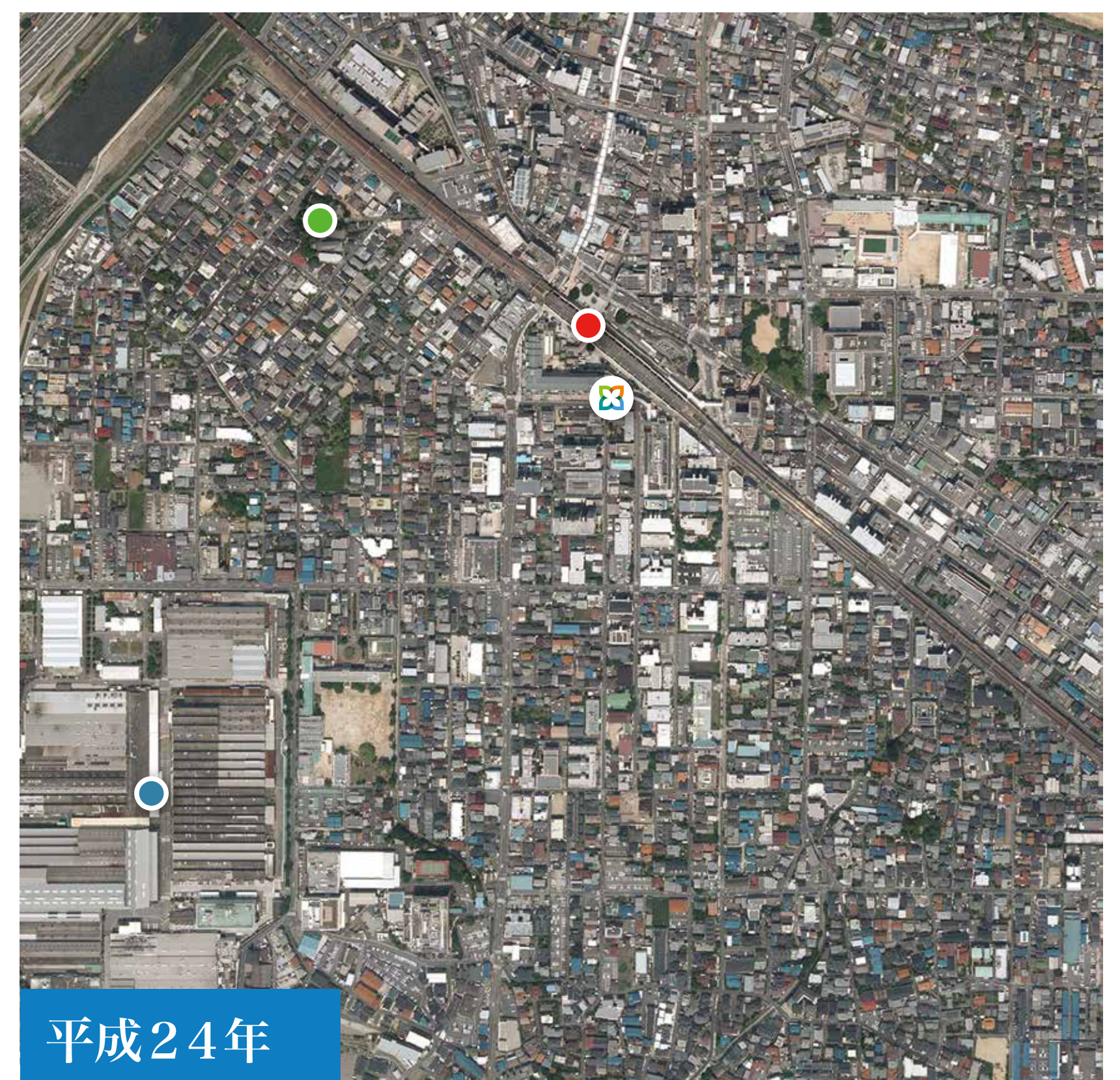
上空からみた池田エリア



昭和23年



昭和54年



平成24年

📍：現在地
🔵：発動機製造／ダイハツ工業 🔴：呉服神社 🔴：池田駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ